

コロナ融資後倒産、過去最多を更新

帝国データバンク 帝調

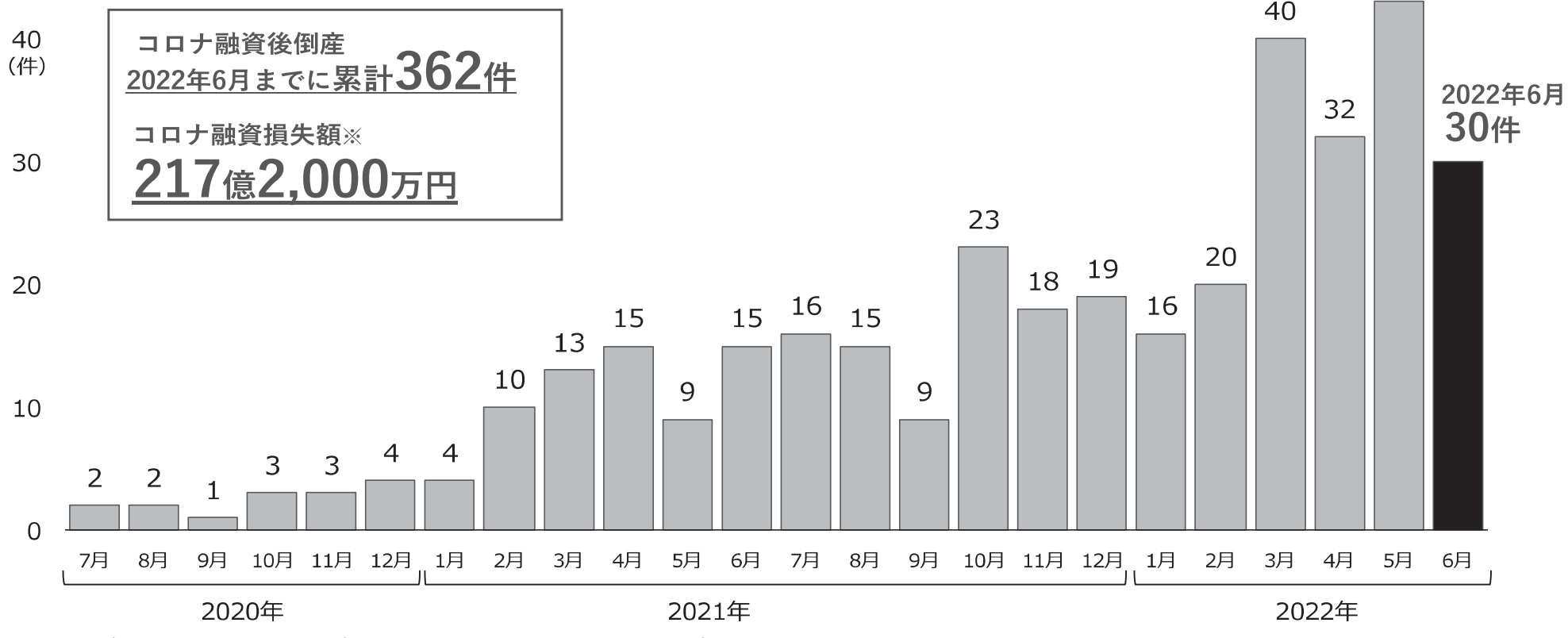
6月時点で前年上回る181件

帝国データバンクが8日公表した全国企業倒産集計の2022年上半期報告によると、「コロナ融資」を受けた後に倒産した「コロナ融資後倒産」は今年6月までに累計で362件に達した。今年1〜6月に限ると181件で、6月時点で前年の166件を上回り、年間最多を更新した。当初は197件で平均2.7件

前後の発生件数と前年を比較すると、発生ペースが加速している。前年6月の発生ペースは約1.5件/月だったが、今年6月は約3.0件/月に上昇している。これは、コロナ融資の効果が徐々に薄れてきていることや、コロナ融資を受けた企業が倒産するまでの期間が短縮されていることなどが原因と見られる。

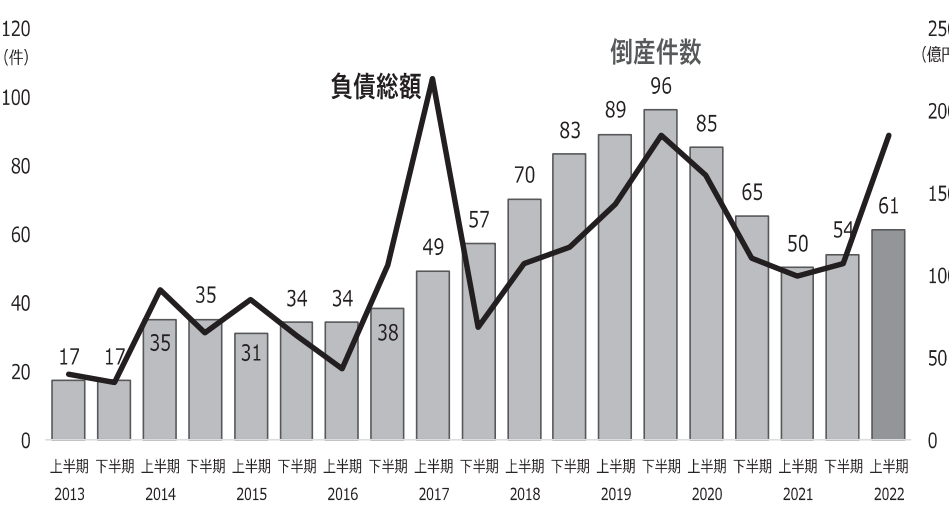
また、コロナ融資を受けた企業の倒産件数は、前年6月の166件を上回り、今年6月の181件に達している。これは、コロナ融資の効果が徐々に薄れてきていることや、コロナ融資を受けた企業が倒産するまでの期間が短縮されていることなどが原因と見られる。

コロナ融資後倒産 月別件数推移

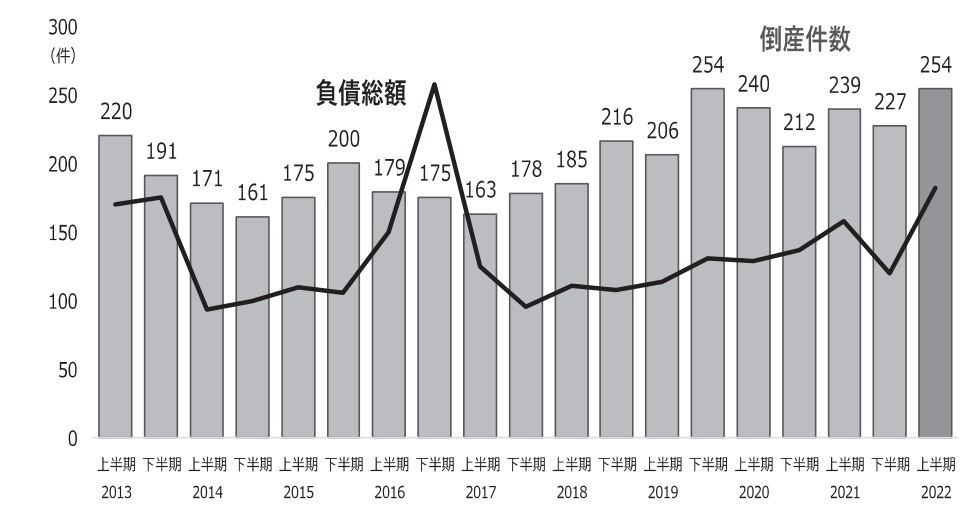


[注] コロナ融資後倒産のうち、具体的な融資額が判明した企業約120社の平均コロナ融資借入額を基に推計

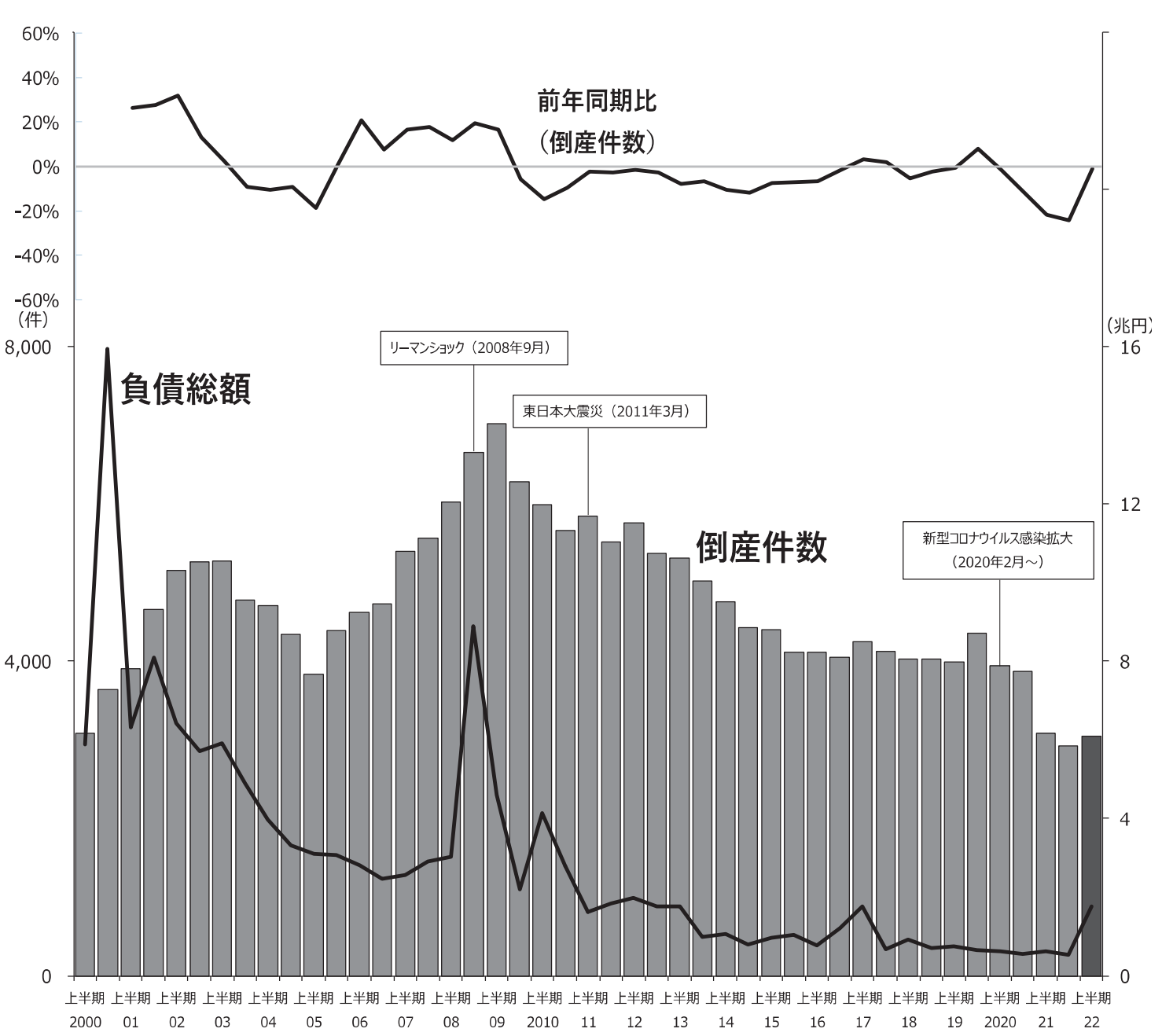
人手不足倒産 件数・負債総額推移



後継者難倒産 件数・負債総額推移



年半別倒産件数 推移



増加局面へ潮目変化か

帝国データバンクによると、今年上半期(1〜6月)の全国企業倒産(負債1千万円以上の法的整理)は前年同期比22.0%増の61件、上半期として3年ぶりの前年同期比増加となった。業種別ではサービス業が最も多く、同26.7%増の22件、66.7%増の254件、54件、集計開始以降で最も多かった2019年上半期に並んだ。

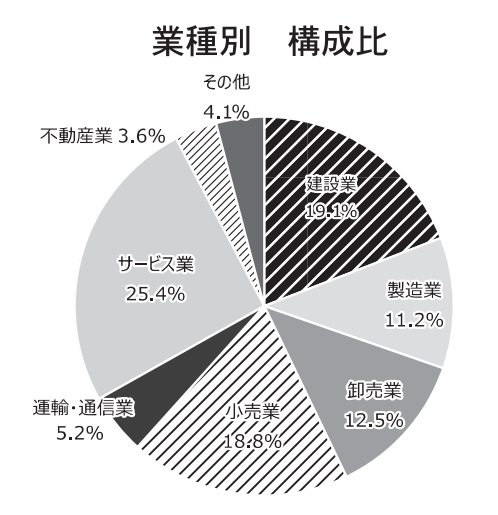
6月単月は1.3%増加

帝国データバンクによると、今年上半期(1〜6月)の全国企業倒産(負債1千万円以上の法的整理)は前年同期比22.0%増の61件、上半期として3年ぶりの前年同期比増加となった。業種別ではサービス業が最も多く、同26.7%増の22件、66.7%増の254件、54件、集計開始以降で最も多かった2019年上半期に並んだ。

6月単月の全国企業倒産(負債1千万円以上の法的整理)は前年同月比1.3%増の54件、2020年7月以来、約9年ぶりの2カ月連続増加となった。負債総額は同16.8%増の1,334.7億円、前年同月比25.8%増の1兆2,000億円、0万円、製造業で過去最大の法的整理となったマレリホールディングスの影響で、タカが倒産した2017年6月以来、5年ぶりの水戸超えを記録した。8の業種別ではサービス業が6業種で増加した。

上半期企業倒産、減少幅が大幅縮小

業種別	件数		前年同期比	
	2021年上半期	2022年上半期	(件)	(%)
建設業	530	583	+53	+10.0%
製造業	324	341	+17	+5.2%
卸売業	397	382	▲15	▲3.8%
小売業	719	572	▲147	▲20.4%
運輸・通信業	143	157	+14	+9.8%
サービス業	709	774	+65	+9.2%
不動産業	137	110	▲27	▲19.7%
その他	124	126	+2	+1.6%
合計	3,083	3,045	▲38	▲1.2%



地域別	件数		前年同期比	
	2021年上半期	2022年上半期	(件)	(%)
北海道	78	103	+25	+32.1%
東北	106	182	+76	+71.7%
関東	1,165	1,117	▲48	▲4.1%
北陸	99	98	▲1	▲1.0%
中部	430	382	▲48	▲11.2%
近畿	776	752	▲24	▲3.1%
中国	135	122	▲13	▲9.6%
四国	66	44	▲22	▲33.3%
九州	228	245	+17	+7.5%
合計	3,083	3,045	▲38	▲1.2%

調査データ